

コール・アルズベール肥料工場改修計画【イラク】

施策所管局課 国別開発協力第三課

評価年月日 平成 30 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	イラク共和国
(2) 案件名	コール・アルズベール肥料工場改修計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを 含む	イラク南部バスラ県にあるコール・アルズベール肥料工場に緊急に必要となる機器の供給等を行うことにより、同工場の生産能力の改善を図り、これによって肥料（尿素）供給の増大を通じた農業生産性の向上と同国の経済・社会復興に寄与するもの。 案件の内容 ・既存肥料工場の改修に必要となる資機材の供給 ・据付工事 ・コンサルティングサービス ア 閣議決定日：平成 19 年 4 月 6 日 イ 供与限度額：181.2 億円 ウ 金利：0.75% エ 償還（据置）期間：40(10) 年 オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、紛争や経済制裁の影響等による工場の維持管理不足や機器の老朽化等により、国内の肥料工場（当時 2 か所のみ）の生産量が大幅に低下しており、生産能力の改善を図る必要があり、イラク政府（農業省）は、バスラ県アルズベール市にある肥料工場において、食糧増産のために肥料（尿素）の生産量を 2004 年の約 26 万トン/年から 2012 年には約 59 万トン/年に増加させる目標を掲げていた。2014 年時点においても、イラクの尿素生産量は約 31 万トン/年であり、イラク政府（農業省）は同工場において、肥料（尿素）の生産量を当初目標値に増加させる目標を掲げており、肥料（尿素）に対する高い需要が引き続き見込まれることから、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 肥料工場の生産能力向上及び老朽化した設備の安全性確保を達成するための追加機材の入札に時間を要したことにより、事業が遅延したが、遅延に係る問題は解決し、現在事業は順調に進められており、本事業は 2019 年頃までに完了する見込み。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれており、事業の進捗を妨げていた要因は解決し、既存肥料工場の改修に必要となる資機材の調達も終えて貸付け最終段階にあることから、引き続き支援を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索 (http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php)

	・ 国際協力機構の事業事前評価表 (http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・ そのほか国際協力機構から提出された資料
--	--